

北条地区タウンミーティング

【司会】 皆様こんばんは。ただいまから「タウンミーティング、笑顔あふれる北条を目指して」を開催いたします。

このタウンミーティングでは、住民の皆さんから地域の魅力や理想像、または地域の課題などについて生のご意見をお聞きして、地域の理想像を実現させていくために、住民の皆さんができること、行政ができること、そして住民の皆さんと行政が力を合わせてできることにはどんなことがあるのだろうといった、前向きで夢のある対話ができればと考えています。

それでは、野志克仁松山市長からごあいさつを申し上げます。

【市長】 皆様こんばんは。お仕事でお疲れのところを、夜ですのに集まっておきまして本当にありがとうございます。11月末に就任させていただきましてから、私は現場現地を大事にしたいという思いでやってまいりました。それは、私が20年間、現場のアナウンサーとしての仕事を通じて、現場だからこそ分かる喜びや楽しさ、苦しさ、アイデア、そういうものを教えていただいたからです。

立場が変わっても現場現地を大事にし続けたいという思いから、7本柱の公約を掲げさせていただきました。その第一の公約の「『誇れる』行政サービスで笑顔に」という項目の中に、タウンミーティングを上げています。

松山市内には41地区ございますので、任期4年の中で全部回るのは大変ですが、それでも、開催することを皆様にお誓いして、第1回は五明でさせていただきました。そして第2回の北条を迎えています。

前向きにまちの魅力を捉えていくことがまちづくりにつながると私は信じています。まず、北条の魅力について皆さんに教えていただいて、そして課題について教えていただければと思っております。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【司会】 意見交換に入ります前に、北条地区まちづくり協議会の皆さんが北条地区の魅力を紹介する映像を用意してくださっていますので、そちらをご覧ください。

【男性】 私たちの知らない北条のまち、いや、忘れてこのまちのよさ。ここにも、あそこにも、春夏秋冬、このまちには息吹がある、美がある。そして、海を見て、鹿島があることに思いをめぐらす。私たちの回りにこんな楽しい華やかなお祭りがあることに、こんな人情があることに、今一度思いをめぐらせてみませんか。

北条にはこんな素晴らしいところがあるのです。3分間のドラマです。ご覧ください。

(ビデオ上映)

【司会】 ありがとうございます。北条の魅力満載の映像をご覧いただきました。

それではこれから皆様のご意見をお伺いいたします。発言をなさりたい方はマイクをお持ちいたしますので、まずお手をお挙げ、最初にご自身のお名前をおっしゃっていただいてからご発言をいただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは市長が進行いたします。

【市長】 北条のまちづくり協議会の皆さんがあのVTRを作ってくださったのですか。あれだけのVTRを作るのは大変だと思います。皆さん、拍手を送りませんか。

VTRでこの地区の良さにたくさん気づかせてもらえましたよね。

さて、今日は私の横に市の職員を連れてきております。と言いますが、やはり全て市長が決めるわけではないんですよ。かなりの報告事項は上がってきますけれども、それぞれ専門性があり権限を持たせておりますので、私ができるだけお答えいたしますが、実務的なところは職員が話をいたします。よろしくお願いいたします。

【男性】 鹿島は俳優渥美清さんが日本で最も好きだったと言われている場所です。

そんな鹿島をこのまま放っておくのは、地元北条のためにも松山のためにも非常にもったいないと思っています。その魅力を全国に向けて発信できればと思っていますが、民間だけでやるには無理なことがたくさんあります。

まず、鹿島のフェリー料金と駐車場料金の値下げをお願いします。現在、大人が300円、駐車場料金が1台610円かかっています。最高でも往復で100円程度にさせていただいて、地元のボランティアの団体や個人の方には優遇措置を設けて、地元の方が日常的に行ける場所にするのが一番の活性化につながるのではないかと思います。

【市長】 鹿島についてですが、まず私は選挙のときから風早レトロタウン構想を掲げております。

実家が北条にありまして、高校3年間と大学を卒業してから結婚するまで、合計10年間北条の家から通っていました。鹿島にもよく来ていましたし、高校のとき

は写真部で夕日を写真に撮ったりしていましたので鹿島に愛着があります。そういう状況で、鹿島を生かしてないというのは常々思っていました。

鹿島行のフェリー乗り場のすぐ側に北条駅がありますよね。公共の交通機関があるということはお酒を飲むこともできます。車で来ることできるし、JRを使って来ることできる、これは利点ですよね。そしてフェリー乗り場から北条駅までは真っすくな道ですから、その真っすくな道で何か展開することができれば。

今は国も県も市も大変財政が厳しく、お金をつぎ込んでやる時代ではない。だったらどうするのか。今あるものを生かすというのが私の考えております風早レトロタウン構想です。この構想は北条の商工会で優秀作品に選ばれており、取り入れさせていただきますと申し上げて許可をいただいたものです。

渥美清さんが好きだった場所が鹿島です。鹿島の料理屋さんにそういう証しものがありますかと聞いたら、渥美清さんと写っている写真がありますよと教えていただきました。全国色んないい場所を知っている渥美清さんが好きでいてくれるというのは、非常に誇らしいことですよね。ですので、この鹿島を生かしたいと思っています。昭和の映画の世界で大活躍された渥美清さんなので、構想ですけども、昭和の映画が500円で何回も見られるような映画館を作るとどうだろうと思っています。

また、県外のテーマパークで昭和の街をキーワードにして人気があるところがあります。そして、松山市のお年寄りたちが集う施設で、施設の中に昭和の街並みや駄菓子屋さんを再現して、とても人気があるところがあるんです。昭和というのは人が集えるキーワードになると思いますので、この風早レトロタウン構想というものを私は掲げております。

前置きが長くなりました。今、鹿島の話が出ましたので鹿島のことについてお話をさせていただきます。どのくらいの人 coming いるのかという現状についてしっかりと把握して、デメリット、メリットを捉えて判断していくということが大事な過程かと思えます。

25年前、昭和63年度は、渡船の利用者はおよそ9万3,000人おりました。今、平成21年度はおよそ3万2,000人です。3分の1になってしまっていますね。先ほどのVTRではとてもお客さんが多かったですね。海の家も映っていたと思います。問題を解決するために、市は鹿島活性化研究会を組織して検討して

いますけれども、行政だけでは活性化はなかなか難しいと思います。ですので、住民の皆さんの熱意や盛り上がりが必要なんです。早速、私は先ほど出ましたフェリー料金、駐車場料金について、料金体系の見直しと、それに併せた集客策の検討を指示しています。

担当課には、社会実験のような形で、フェリー料金の大人300円を200円や100円にしてみるとか、駐車料金の610円を500円や400円にしてみるとか、例えば1時間100円の刻みにしてみるとか、そういうことをして、どういうふうにしたらお客さんが来てくれるのか考えていきませんかと話しております。これまで料金を下げづらかったのはどういう理由かという、今、鹿島観光事業特別会計で、歳出がおよそ3,700万円ですけども、歳入は渡し船の収入が年間で780万円、駐車場の収入がおよそ230万円、合計1,010万円です。足りない2,700万円はどうしているかという、一般会計からの繰り入れをしている、いわゆる赤字なんですね。全体の72.4%を穴埋めしているという状況です。ですから、料金を落とすとどうなんだろうという考えがあって、今までできていませんでした。

【男性】 検討中ということで。

鹿島周辺で聞いた、何人かの住民の声をまとめてきました。北条市時代は普通に通行できた鹿島の市道やのに、合併後通行禁止の看板が建てられたのはミスジャッジじゃないでしょうか。砂をのけただけでも十分今のままで通行できます。修復しなければ通ってはいけないと言うならば、早くどうにか修復をしてほしい。どこまで修復をすればいいのか、修復金額などは住民には検討がつかないという意見がありました。

それと、鹿島に渡っても、冬場はお店がどこも開いていません。シャッターが閉まっているお店をまずどうにかして、行ったら何か食べ物がある、1軒でもいいからコーヒーの匂いがする煙が上がっている喫茶店があったら随分違うと思います。

【市長】 私も鹿島が一周できないのはとても残念なことだと思っています。現状はなかなか厳しいですが、聞いてがっかりしないでくださいよ。ここから意見を交わしていく、この方向がだめだったらこの方向でやってみようということが大事だと思いますので。ではご説明をいたします。

経緯から申し上げますと、平成17年7月に周遊道路に大規模な落石があり、通

行される方の安全確保のために通行止めにしております。平成18年度から平成20年度にかけて、二度山林区域全般の地質や地盤安定度の委託調査を行ったそうです。調査の結果、鹿島全体の風化は地下の深いところまで及んでいるため、崩壊崩落を全面的に止めることは困難で、現況では島の西側部分の交通止め区間に立ち入らない方策が安全を確保するために最も妥当との意見をいただいております。安全性の確保から、現状では通行止めの解除は難しいという状況です。これは皆さんの知りたいところだと思いますけども、じゃあ、工事したらどれだけのお金がかかるのかということについてお話をさせていただきます。

A、B、C、D、E、F区間という6区間ありまして、合計すると、第1案では、密着型落石防護網工に3億8,700万円かかる。第2案では、ポケット式の落石防護網工に2億2,600万円かかる。周遊道路ですから足場を組む必要がある。台船の費用がかかる。台船の費用を含むと工事費がこの倍になるそうです。ここまでかかるのはなぜかと問いますと、愛媛大学の意見書が平成20年11月に出ているんですけども、鹿島の北西部はマサ化しやすい地盤の部分が多く、風化するのを完全に止めることができないのだそうです。私にとってもショックな数字ですね。でも、先ほど見ていただいたような水晶ヶ浜や石門をやっぱり見ていただきたいですよ。ここで考えるのが、船が2隻ありますので、例えば鹿島一周の遊覧船のメニューを検討してみてもどうでしょうか。船からだるま夕日や伊予の二見を見ることが考えられると思います。山頂に上がる道は幸いなことに通行止めのところからではないので、山頂も生かしていったらいいんじゃないか。山頂に登って展望台から見てもらうという、そういう楽しさをPRしていくことも大切なのかなと思っております。

通行止め以外のところでも危険なところがあるそうですが、比較的島の北東部は地盤が安定しているので、鹿園の柵から太田屋さんの向かい側の斜面にかけて、落石防止の擁壁工事に今年度着手しております。

【男性】 ありがとうございます。では、もうあそこは歩くことはできないと、鹿島は手放せと、そういう話ですね。

【市長】 6区間あると申し上げましたが、部分的にここまでだったら延ばせるというのは可能かと思えます。鹿島の水晶ヶ浜を見ていただきたい、何とかしたいという思いはあります。

そして、空き店舗の問題がありましたけれども、僕は皆さんからアイデアを寄せていただきたいと思います。やはり住んでらっしゃる皆さんが一番鹿島の良さについて知ってらっしゃると思いますので、空き店舗を利用してこうしたらいいんじゃないかという考えを、こちらとしても応援していきたいと思っています。また、鹿島の活性化につながるイベントについても、市としてもぜひ協力したいと思っていますので、これもまた地元の思いをアイデアとして出していただきたい。海開きまでには砂浜の整備を予定しております。

なかなか現状を言うと厳しいなと思われるでしょう。でもここから頑張っていたきたいんですよ。一生懸命になったら人は動くと思うんです。伺った話なんですけども、ロープウェー街は、今はきれいな通りになっていますけども、昔は3つの地区の意識がばらばらだったんですね。やはり、ばらばらだとまちづくりは難しいです。住民の方が一体になって動いていただくというのはとても大事なことです。なかなか厳しい現状がありますけども、住民の皆さんと行政が一体になって、ここから前向きに考えることでいいアイデアが生まれてくるのかなと思っています。

【男性】 鹿島の空き店舗の利用をしていただけたらと思うんですが、若みどりさんのお店が空白状態で、仲七さんというお店も貸しポート屋をしていたんですが、今は営業をしていない。行政で募集をかけて、民間の利用を促進していただけたらと思います。

【市長】 これについては実務的なことになりますので。

【産業政策課長】 今言われました店舗は、民間で以前使われていて、ただ空いているという段階ですので、手を上げていただく方がおられれば、こちらとしても持ち帰って検討させていただきたいと思います。

【男性】 鹿島は国立公園ということで規則がたくさんあって、行政財産の上にあるので建物を人に譲渡したり転売したりできないと、そういうところはどういうふうに関の目をくぐっていかうと思われているのか。また、私個人としては、鹿島は部分的に国立公園をやめてもいいんじゃないかと本当は思っています。前面は国立公園を解除していただいて、少し開発に向けてもらえる。裏の方はそのまま自然を残すとか、そういう感じで開発と自然の調和のとれた島にしていけたらなと思うんですが。

【市長】 これは1つの考え方ですよね。色んなアイデアがあってしかるべきだと思

うんですよ。最初からできんのかなと思われずに、色々アイデアを出していただく。今の国立公園のお話になると、国や県との話になります。不正確なことをお答えするのは不誠実ですので、そういう場合は、大体1カ月強ぐらいかかってしまうんですけども、持ち帰って現状をしっかりと認識して、国や県に問い合わせる必ずお答えをすることにしております。

【市民部長】 今日出たことで即答できないことにつきましては、後日詳細につきまして正確な答えを説明させていただくようにしておりますので、よろしく申し上げます。

【市長】 国立公園を外すというようなことは今まで聞かれたことはありますか。

【市民部長】 これは環境省の所管になりまして、瀬戸内海全体が国立公園で法律の規制がありますので、外れるということは難しいんですけど、ただその規制の中で自由度はあると思います。そのあたりは、後日詳細についてお答えするというところでよろしいでしょうか。

【市長】 それでいいと思うんです。こういうふうな考えが大事だと思うんです。市役所に入りましてこんなことがあったんですけども、国との交渉ごとで、恐らく無理だと思いますと担当が言ってきたので、だめもとで言ってみてくださいと言ったらOKだったんですよ。だから、先ほど厳しい現状をお話ししましたけども、ここでやれることがあるかもしれないと考えることが大事だと思いますし、ここがターニングポイントやと思うんですよ。だめもとで、できんかもしれんということ言ってもらうのも大事なことだと思います。

【男性】 北条小学校の子ども数が、30年前には1学年150名程度いましたけれども、来年度の入学生は50名程度、およそ3分の1程度になってしまうという現状です。子どもたちを何とか明るくするために、愛媛にないもの、立岩、北条にないものは何か考えると、海水の大きな魚を含めた水族館がありません。南に砥部の動物園があるので、それに対抗しまして北側の北条に水族館があれば、南北のバランスがとれるのではないかなと思います。お金がかかることは分かっておりますけれども、サバやホゴ、イワシなどの地元でとれる魚を紹介することで子どもの魚嫌いを防ぐことにも役立つのではないのでしょうか。夕日が見える下難波辺りは適していると思います。

何とかできるような方策を見出していただけたら非常にありがたいです。

【市長】 愛媛には海の水族館はないなということは感じておりました。本当にあればいいなという思いはあります。高松には屋島の水族館、高知には桂浜の水族館、徳島にはウミガメの水族館があったかと思うんですけども。かなりお金がかかるとは思いますが、まずはどれくらいお金がかかるのかから現状認識をさせてください。この松山地区に、愛媛に水族館があればいいなと思う方、手を上げていただけますか。大体上がりますよね。まず、現状認識からさせてください。

【男性】 商店街の振興についてなんですが、北条の駅前辺りは本当にゴーストタウンのようになってしまっています。その空き店舗をよそから誰か人に来てもらっても活用できないかと考えるんですが、そのときに何か利用できるような優遇措置や支援策がありますでしょうか。

【市長】 商業を元気にさせるための松山市の施策というので、2つご紹介します。松山市商業振興対策事業というのがまず1つ、そして、どちらかというところらに近いのかなと思いますけど、もう一つは松山市商店街空洞化対策事業というものがございまして。空洞化対策の方が、商店街の空き店舗を教育文化施設、保健医療施設、社会福祉事業、その他の住民などの共同の福祉または利便のための事業を行う施設として活用する事業を実施する商店街に補助金を交付すると。対象となる費用が2つありまして、改装工事費、これは補助対象経費の2分の1以内、上限が150万円までということと、もう一つは運営管理費、補助対象経費の2分の1以内、上限が200万円までです。補助期間は3年以内だそうです。北条地区で活用した事例は、北条商業サービス協同組合と北条地区社会福祉協議会が連携して北条地区の商業の活性化を図るとともに、地域福祉の増進に資することを目的として開設した「おもてなしサロン明星」に対して補助を行った。平成19年度の事業費が144万6,000円、うち補助金が70万円、平成20年度が事業費128万4,000円のうち、補助金が62万8,000円、平成21年度が事業費136万6,000円、うち補助金が66万5,000円となっております。

先ほど申し上げた松山市商業振興対策事業では、北条地区へはどんな支援実績があるのかというと、本町の商店街の夏祭りに補助金が13万2,000円、北条商工文化祭に補助金が50万円、北条商業サービス協同組合アーヤカード新春交換会に補助金11万円、このような例があるそうです。

【産業政策課長】 商店街の空洞化対策事業は、今の要綱では、北条で言えば商業サ

ービス協同組合といった、あくまで団体に対してしか補助ができませんので申し添えます。

【市長】 逆に、こういうのがあったら利用しやすいという希望があれば教えていただきたいですけども。

【男性】 団体よりは個人の方が、人が行ってみたいと思うようなお店が自由な発想で作れて、そういう人が寄ってくる場所が1軒あれば、その近辺がまた賑わってくるんじゃないかなという気がするので、団体でないと出せないというのは残念ですね。

【市長】 市でも各種事業があり、今の2つだけではないと思いますので、実務的なところになりますけども、何か利用できる制度とか事業ですとか。

【産業政策課長】 個人でしたら、費用に対しては融資制度がありますので、またご相談させていただいたらと思います。

【男性】 鹿島の活性化のためには、鹿島のことだけ考えたのではお客さんは来ないと思います。JRの駅前から鹿島に至る経路を何とかしていく。そのために、市役所の支所を駅前へ持ってこれないですか。そして、駅の駅舎も空いているわけですから郵便局も一部。その辺りで行政サービスなんか全てできると。北条の旧市庁舎は今ほとんど空いているでしょう。これは将来どうするおつもりですか。耐震基準はどうなっていますか。思い切って壊して公園にしたらどうでしょうか。ちょうど前に学校もあるし、公園にしたら非常に地域の人を良くするんじゃないかなと思います。ここはコミュニティセンターと大ホールだけにして、駅前に持っていく。そして、駅前の通りは、先ほど市長の言っておられたような映画館とかですね。今の辻町通りの商店街や北条の商店街ではもう日常の用はほとんど足せません。生鮮食品を置いている店もないので、日用品を扱う店、あるいは農家や漁師の方が作ったもの、とってきたものを販売するような店ができないかなと思います。

それから、駅前通りでなくて裏通り、あるいは信号から向こうのあたりでもいいんですけど、日曜市的なものを定期的で開催してはどうでしょうか。

鹿島にお客さんを呼ぶためには、海水浴場はきれいに整備できていますけども、売店と食堂がほとんどありません。余り大きなものじゃなくていいので、行政でそういうものを設備して貸し出すということも検討していただきたいと思います。

【市長】 コミュニティセンターと会館は残して、支所を思い切って駅前にというの

も1つの方法だと思えます。今年の12月から平成24年12月ごろに、北条支所の耐震改修工事を予定しています。耐震診断した結果、新館は耐震補強工事をします。旧館は取り壊して、支所の駐車場として整備する予定です。工事中も、市民会館やコミュニティセンターは耐震強度がありますので使用できます。耐震改修をすれば震度6までは耐えられる設計になるわけですが、現在の新館は築30年です。鹿島は思い切って行政がお店を出してやってみようかというのも、1つのアイデアだと思えますので受け取らせていただきます。

日曜日ですけれども、現状を教えてください。旧北条市内で日曜日のようなものは、今行われてますでしょうか。

【男性】 農家が運用しとる売店が新開の方にあったと思う。

【市長】 新開の方に。

【男性】 日曜日にやってる。

【男性】 それと、立岩地区。

【市長】 立岩。

【男性】 月に1回。

【市長】 月に1回。日曜ですか。

【男性】 これを駅前通りか、もう一つ向こう側の片町の街道のある通り、あるいはその信号から鹿島側辺りでやってみると。この辺りが余り勢いがいいからね。鹿島の北西側が整備できれば、ついでに向こうへ渡ってみようかなということ集客にもなるかなと思います。いい例が風和里ですよね。風和里は売店があるおかげで、ひっきりなしに車がいっぱい入っていると。鹿島もあれだけ海水浴場に投資をしているわけですから、そのあたりを考えていただきたいと思えます。

【市長】 このように地元の方から動きが出てくると、行政としてはとてもありがたいわけなんです。お金の使い方として、行政が押しつけるのはやっぱりいかんと思うんですよね。やはり地元の方から動きが出てきて、それを行政がバックアップするという形が一番皆さんのお考えと合うのかなと思います。

【男性】 商工会で活性化の案を幾つか募集した中で、日曜市の案を出された人が隣にいらっしゃいますので。

【男性】 日曜市の提案の内容なんですけれども、私も提案しましたが、先ほど言

われた駅前での裏通り、通行の邪魔にならないところ。通常の野菜とかでなくて、北条なので新鮮なお魚を置く。そして、一番ポイントはイベントを必ずする。中心部あたりで歌を歌うとか、カタリナ大学で色んな催しものをする。そういう芸術的な何かをその都度行くと。そして、売るのも、老人ホームなどからフリーマーケットにさせていただくと年寄りも元気になるという考えで提案させていただきました。

【男性】 北条の玄関として、北条駅からお客さんを迎えて、満足して帰っていただくということを考えたときに、可能か不可能かは別として、松山市で指定地域を作って、例えば北条駅から鹿島の地域、ここで市を挙げてまちづくりをさせていただくとか。資源や素材がこのくらい揃っているところは数少ないんじゃないかと思います。

ただ、これをどのように形に表していくか。相当の資金が要ると思いますけど、ばらまきでなくて集中的に投入していただいて、その成果を早く表す。そうしますと、松山市全体の意欲も沸いてくると思うんです。市がやる気になったらあれだけのことをやるんだなという1つのモデルづくりをしてほしいと思います。

【市長】 駅からフェリー乗り場にかけて中心地区に、鹿島を含めてですね。

【男性】 もう一つつけ足し。私の家に訪問者があって駅から帰るわけだったんですけど、いざ帰るときにお土産を買おうとすると、駅前通りではお土産はそろいません。お菓子を買うためには辻町へ、海産物も港へ行かなければならない。これが北条なんですね。

【市長】 色んな課題が出てきましたけども、幸いなことに、北条地区にはまちづくり協議会ができております。ここに財源と権限を委譲しましょうというのがまちづくり協議会でありますので、まずは、まちづくり協議会で話し合っていていただいて、北条の方はこんなことを思っているというのを協議会から上げてきてもらったらと思っております。このまちづくり協議会は松山市全体でできているわけじゃないんですよ。まだまだ、準備会含めて10地区ですので、その中に北条地区は入っているわけですから、このまちづくり協議会でしっかりと話し合っていていただきたいと思っております。

そして、もう一つだけ私から。NHKのスペシャルドラマ「坂の上の雲」が今年の12月で完結します。幸いなことに、ドラマを見て、松山に来られる観光客の方が多くなっています。「坂の上の雲」のドラマが終わった後は、2012年は平清盛

なんですね。平清盛は、皆さんご存じのように、主な舞台が広島になります。松山から今治を通ってもらって、広島への動線というのが大事になるわけですね。私もとしまして、この北条で立ち寄ってもらって、お金をおとして帰ってもらうというのが非常に大事なポイントだと思っております。

【男性】 渡船場の運営や鹿島の清掃など、現在業者が受けておることを、北条のまちづくり協議会やNPO団体にさせていただくことができないでしょうか。地元のことは地元の者が行った方が雇用にもつながりますし、観光客への案内などをうまく行えると思うのですが、いかがでしょうか。

【市長】 これについては業務委託は可能です。委託するわけですから、適正に業務をやっていただけなのか、そして継続的に業務ができるかというところを審査することが必要になるんですけども、それをクリアできればもちろん可能です。現在、渡船の管理業務と鹿島公園の清掃管理業務をそれぞれ民間業者に委託しています。市の登録業者から業者を選定して、指名競争入札で業者を決定しておりまして、平成22年度、23年度の2カ年の契約となっています。確かに地元のことは地元でというのは大事な考え方だと思います。

【女性】 昨年12月8日付の愛媛新聞で、知的障害者ケアホーム建設計画、町内会で反対運動という見出しが出されました。ここで思いましたのは、果たしてその地域全員の方がよく話し合っていて、熟慮して反対運動という結果を出したのだろうかということです。そして、市民として、これでよいのだろうか、いささかさびしい感じがしました。福祉に対する住民の無理解や地域自治に対する無関心から生じた結果ではないだろうかと思われまして、今回ここへ出ささせていただきました。

そこで、提案なんですけれども、地域計画を決めるに当たっては、地域住民にアンケート等で疑問点も含めて意見を聞き、それらを積み上げていく方式にするのはいかがでしょうか。そして時間を要しても、市がフィードバックを繰り返しながら、責任を持って全体に知らせていく。そのような行為が計画を実践する上では非常に大切だと思います。

福祉問題は、弱者への心配りがベースになること、そして、家族や自分のこととして考えることが大切だと思います。景観も大事なんですが、やはりハートがあることが、まちが栄える1つの魅力になるのではないのでしょうか。それを進める

ため、ボランティア活動などの学習や体験を試みることも大切ではないだろうかと思えます。

【市長】 北条地区で知的障害者施設への建設反対運動がありまして、施設側が計画を白紙にしたということがございました。松山市は俳句ポストを各地、ご縁のところに置いてもらってまして、先日、横須賀市に船の形をした俳句ポストを持っていったんですね。その船の形をした俳句ポストを作ってもらっているのが、松山市内にあります心身障害者小規模作業所というところですよ。横須賀市さんから、この船を作ってくれた方々に渡してくださいと言われたので、この間持っていつてきたんですよ。皆さんとっても純粋で、一生懸命木工をさせているんですよ。障害がある方とない方とが共に暮らせるということがやっぱり大事なことだと思います。この問題については、市も反対運動が起こったときから、県の中予地方局に相談して、県地方局が調整を行っておりました。ケアホームの事業所の指定の権限というのは県が持っているんですね。ですから、松山は県の地方局と連携しまして、必要な情報を適宜交換して、とにかく円滑な解決をしてもらえるように努めてきたんですけども、結果的に不調に終わってしまいました。これについては、大変残念なことだと思っております。純粋で、一生懸命頑張っている人たちをきちんと評価できるような、ハートがある社会にならなければならないなと特に感じています。

今日は魅力についても語っていただきましたし、商店街の振興のこと、鹿島のことについてもお話が出てまいりました。市には職員が3,400人おります。色んな担当課があり、色んな制度もありますので、できることもあろうかと思えます。まずは相談してもらって、どうせできんわいと思わずにうまく行政と付き合っていたとくというのが大事かと思えます。

【男性】 商店街の活性化なんですけど、以前北条市の折には、大町にできております道路から真ん中にかけてバイパスをずっと回って北条の商店街へ客を呼び込もうかという商店街活性委員会というのがありました。年に4、5回はやっていましたが、合併して途切れています。これをぜひ継続してやっていただきたいです。

それと、鹿島の件なんですけど、駐車料金がなぜ610円かといったら、手前にある個人の駐車場が600円で、そこを先に埋めてあげないといけないから10円でも上げたんじゃないだろうかと思えます。ただ、駐車料金プラス渡船料金でしょう。これやったらお客さんをなかなか呼べないので、ここを何とかしていただきたい。

北条市の折では、行事ごとに関しては渡船料金は要りませんということになっていたんですが、合併以降、なかなか行政はうんと言ってくれないので、そこをなんとか配慮してもらいたいです。

最後ですが、高縄山から風和里辺りにかけてのハイキングコースができれば、まだまだお客が呼べるんじゃないだろうかと思います。

【市長】 先ほど駐車料金の話がありましたけども、市役所に入って言われるのが、民業を圧迫してはならないという言葉ですね。これは確かに1つ真ありだと思うんです。行政がやって、そのご商売をしているところが大変な影響を受けたといったら、これは問題にはなりますよね。この辺が行政の難しいところかと思います。でも、まちづくりも大切なことだし、色々考えなければいけないことがあるというのが行政というものでしょうか。

【女性】 先ほどから鹿島のことをいっぱい話されてます。やっぱり人が行かんことにはどうしようもないので、料金は絶対下げてほしいです。昔は安かったからいっぱい行ったんだろうし、地域の人でさえ行けない料金ということは、よそから来られても絶対行けないと思います。

それと、そこへ渡って回れなくてもいい、遊べる場所を作っていただかないことには、渡ってもらってもどうしようもないと思います。人が来ないのにお店は開かないと思います。鹿島へ渡る料金が安かったら地域の人も行きます。駐車場の件は今聞いて、それで610円にしたんかと少しは納得しましたけど。鹿島を大事に、もう50年近く住んでいますけど本当にすばらしいところです。

それと、北条小学校の信号からハトマートのちょっと北側の道は、魔の通学路と言われるくらい本当に恐ろしいです。子どもたちが通学するときには自動車が離合できません。5年間の審議会の最後のときに太田区長さんがあの道のことを言われました。そしたら、1回見に行ってみましょうというお返事をいただいたんですが、あれから来ないがどうなっているのかというお話を聞いています。通学の時間に見て、どれだけ危ないかということを知ってほしいです。何年かかってもいいです。学校までの道は何とか少しずつでも広げて、子どもたちの通りやすい道にしてほしいと思います。

【市長】 最後におっしゃった通学路の問題についてお答えをいたします。経緯をご説明します。去年の2月15日に、この北条小学校からJA愛媛、このあたりの路

線の改良について、地元の関係者と協議を実施いたしました。その際、この路線の改良について、地元からは北条高校の前と同じ2車線両歩道の改良を行ってほしいと要望があったと聞いておりますけども、やはりこれについては莫大な事業費がかかってしまいます。そして、家屋の移転をしなければなりませんので実施は困難ですというふうに回答をしているそうです。ここからなんですけども、北条小学校の通学路や北条支所の沿線でもありますので、路線の住民の方や地権者の方の理解と協力が得られるのであれば、財政状況やほかの要望路線との関係も踏まえて、1車線道路で歩道整備も含めた生活道路整備事業の中で対応していきたいというのが我々のスタンスです。

私も、何で学校が近いのに2車線から急に1車線になるんだろうというのは常々感じておりましたが、地権者の方とのお話し合いの中でなかなか難しかったり、そういう経緯もありますので、先ほどお答えしたようなお答えになります。

【男性】 去年の5月に、松山赤十字病院の移転という問題が出まして、私どもは住民活動として誘致する会を主として署名集めをいたしました。各区長会の承認も出まして、先般日赤の愛媛県支部と松山赤十字病院へ要望書を提出しております。松山市の担当部署へもご報告させていただきました。期待が大きいので、ぜひ市長さんもお理解とご協力をいただいて、強力な支援をお願いしたいと思っております。

【市長】 赤十字病院を北条へという動きがあることは、私もよく承知しております。これについては、やはり赤十字病院が主体となって考えるものではあるんですね。今伺っている話では、赤十字病院で敷地やそのほかの諸条件を慎重に検討されているということです。松山市としては、赤十字病院から具体的な案が出た段階で対応していくということになります。各地からこういう声上がるんです。愚陀仏庵もそうですけれども3カ所から声上がる。赤十字病院もそうです。行政としてはどこか1つに決めないといけないわけですから、大変悩ましい問題ではありますけれども、たしかに北条で動きが起こっていることも承知はしております。

【市長】 時間が来てしまいました。

松山市には市長へのわくわくメールという制度がありまして、入り口にハガキを置いてあります。皆さんからお声をいただくシステムを作っておりますので、どうぞ色々な形で言っていただければと思います。よろしく願いいたします。

今日心に残っている言葉があるんですけども、冒頭にお話をされた さんから、

じゃあ鹿島の浦はあきらめたんですかというお話がありましたけれども、あきらめてないです。(拍手)

【男性】 ありがとうございます。

【市長】 せっかくまちづくり協議会といういい組織ができていますので、皆さんの方からどうぞ声を上げていただいて、動きを作っていく。声を上げていくということが大事だと思っています。これからです。今日がターニングポイントだと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

現状は確かに、私も国も県も市もお金がない、社会保障経費の伸びでも啞然としてしまいます。生活保護費の上昇で言いますと、19億8,000万円上がっているんです。必要なことではあるんですけども。厳しい世の中ではありますが、ここがっかりしないで前向きにやっっていこうではありませんか。じゃないとまちづくりはできないと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。(拍手)

了